

# 令和8年度予算案のEBPM「地域子ども・子育て支援に必要な経費」

## 課題データ

少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、こどもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、こどもの健やかな育ちを支援することを目的とする。

## 事業

### (14) 地域子育て支援拠点事業

令和8年度当初予算案：2,231億円の内数

子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供する。基本事業としては、①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、②子育て等に関する相談、援助の実施、③地域の子育て関連情報の提供、④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施を行う。

実施形態として(1)一般型と(2)連携型がある。

- (1) 一般型：公共施設、空き店舗、保育所等に常設の地域の子育て拠点を設け、地域の子育て支援機能の充実を図る取組を実施する
- (2) 連携型：児童館等の児童福祉施設等多様な子育て支援に関する施設に親子が集う場を設け、子育て支援のための取組を実施する

※アウトプット、アウトカムの( )内は直近の実績値

### アウトプット

地域子育て支援拠点事業の実施自治体数  
(2023年度 1,537自治体、2024年度 1,547自治体)

### 短期 アウトカム

地域子育て支援拠点事業の実施か所数の増加  
(2023年度 8,016か所、2024年度 8,061か所)

### 中期 アウトカム

-

### 長期 アウトカム

「子育てが地域で支えられていると思う」と回答する保護者の割合の増加  
**2026年度 50%** (2023年度 30%)

## EBPM指標

## 目標

こども・若者の権利保障と  
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべてのこども・若者の  
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と  
その実現を阻む隘路の打破

こども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み